



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月22日

上場会社名 テンアライド 株式会社
 コード番号 8207 URL <http://www.teng.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 社長

(氏名) 飯田 永太

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理部長

(氏名) 加藤 慶一郎

TEL 03-5768-7490

定時株主総会開催予定日 2020年6月25日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	14,567	4.6	307		285		845	
2019年3月期	15,271	1.1	226	34.3	242	30.5	20	85.4

(注) 包括利益 2020年3月期 839百万円 (%) 2019年3月期 15百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	32.34		17.5	3.3	2.1
2019年3月期	0.79	0.79	0.4	2.6	1.5

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	8,334	4,407	52.9	168.51
2019年3月期	9,105	5,247	57.6	200.61

(参考) 自己資本 2020年3月期 4,407百万円 2019年3月期 5,246百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	161	385	151	1,349
2019年3月期	622	497	427	1,421

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		0.00		0.00	0.00			
2020年3月期		0.00		0.00	0.00			
2021年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、適正かつ合理的な算出が困難であることから、現時点では未定とし、見通しが可能となった時点で、速やかに公表いたします。

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	26,579,527 株	2019年3月期	26,579,527 株
期末自己株式数	2020年3月期	426,734 株	2019年3月期	427,674 株
期中平均株式数	2020年3月期	26,152,750 株	2019年3月期	26,144,825 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	14,567	4.6	310		283		844	
2019年3月期	15,271	1.1	223	33.5	245	29.4	23	83.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	32.28	
2019年3月期	0.91	0.91

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年3月期	8,309		4,387		52.8		167.75	
2019年3月期	9,073		5,245		57.8		200.56	

(参考) 自己資本 2020年3月期 4,387百万円 2019年3月期 5,245百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、決算短信P3「1. 経営成績等の概況 (4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	13
4. その他	13
(1) 役員の変動	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、企業収益や雇用情勢の改善など景気は緩やかな回復基調で推移していましたが、国内及び諸外国の政治・経済情勢の不確実性や、相次ぐ自然災害に加え、年度末にかけて新型コロナウイルスの感染拡大により、急速な景気の低迷が生じております。

外食産業においては人手不足による人件費の高騰に直面し、経営環境は厳しい状況が続いておりましたが、加えて新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出等の自粛により急速な消費の縮小が生じ、極めて厳しい経営環境となっております。

このような状況の中で、当社は堅実な店舗運営と着実な収益構造の確立を図ってまいりました。

当社は愚直なまでにお客様への四つの誓い「良いものを安く、早く、清潔に、最高の雰囲気で」の実現を徹底しております。こうした観点から、従来から継続して取り組んでまいりました店舗に係る内部監査、衛生監査及び営業監査の更なる内容の充実に取り組み、理念の徹底を図っております。

また、急速な消費の縮小に対し、新型コロナウイルス感染拡大に対する政府及び自治体からの各種要請に応えると同時に、雇用の維持を確保しつつ、消費者ニーズを捉えた各種施策に取り組んでおります。

以上の結果、2月中旬まで堅調に推移しておりましたが、その後の新型コロナウイルスの感染拡大に伴う自粛営業の影響もあり、当連結会計年度における連結売上高は、前年同期比95.4%の145億67百万円となりました。

利益面につきましては、販売費及び一般管理費の削減をしたものの、2月、3月の自粛の売上減の影響を受け、営業損失は3億7百万円（前年同期は営業利益2億26百万円）、経常損失2億85百万円（前年同期は経常利益2億42百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失は8億45百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益20百万円）となりました。

なお、当連結会計年度末における当社の店舗数は、「旬鮮酒場天狗」19店舗、「和食れすとらん天狗（「旬鮮だいにんぐ天狗」含む）」33店舗、「テング酒場（「立呑み神田屋」「ミートキッチンlog50」含む）」64店舗の合計116店舗であります（内フランチャイズ2店舗）。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べて7億70百万円減少し、83億34百万円となりました。この主な要因といたしましては、その他の流動資産が1億20百万円、有形固定資産が2億52百万円、敷金及び保証金が1億72百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて69百万円増加し、39億27百万円となりました。その主な要因といたしましては、長期借入金の返済により長期借入金が2億5百万円、リース債務の返済によりリース債務が1億44百万円減少したのに対し、短期借入れにより短期借入金が増加したことによるものであります。

また、当期純損失の計上で利益剰余金が減少したことにより、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて8億39百万円減少し、44億7百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ72百万円減少し、当連結会計年度末には13億49百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況については下記のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、1億61百万円となりました。これは主に税金等調整前当期純損失、減価償却費及び減損損失によって得られた資金によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、3億85百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果増加した資金は1億51百万円となりました。これは主に長期借入金の返済及びリース債務の返済による支出に対し、短期借入れによる収入によって得られた資金によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率 (%)	50.5	52.9	54.4	57.6	52.9
時価ベースの自己資本比率 (%)	90.9	106.1	127.9	118.1	121.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	666.8	540.6	192.6	190.0	515.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	13.8	9.0	29.8	27.8	9.4

自己資本比率 : 自己資本 / 総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額 / 総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債 / キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー / 利払い

※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※ キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

※ 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

国内及び諸外国の政治・経済情勢の不確実性が残る中、新型コロナウイルスの感染拡大により世界規模で経済が停滞しており、極めて厳しい経営環境が継続するものと思われま

す。特に外食産業においては、緊急事態宣言に伴う店舗の臨時休業や営業時間短縮、不要不急の外出自粛に伴う営業機会の消失や消費マインドの縮小により、いまだかつてない厳しい状況となっております。

このような状況下において、当社としては新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、政府・自治体からの各種要請等を踏まえて、一部の直営店について臨時休業を実施しております。また、営業を継続している店舗でも営業時間を短縮し、お客様と従業員の安全性を最優先して、衛生管理を徹底しております。

また、店舗・事業所においては、インフルエンザやノロウイルス対策として従来より整備している体調管理に係る連絡体制の更なる徹底により従業員の体調管理を行うと共に、可能な限りテレワーク等による在宅勤務の実施を行っております。加えて臨時休業等による従業員の休業補償についても前向きに検討を進めております。

加えて、こうした環境下においても外食のニーズは存在し、このような環境に適合する弁当等のテイクアウト販売を拡充すると共に、宅配サービスにも着手いたしました。また、セントラルキッチンオリジナル製造品の外部販売（楽天による通信販売、ホームページからの直接販売、セントラルキッチン敷地内の「天狗こだわりマーケット」による直接販売）の実施等により、本格的に小売業への進出の第一歩を踏み出しました。

以上のような取り組みを推進しておりますが、店舗の臨時休業等により売上が大幅に減少しており、その収束の予測も困難であるため、現時点においては業績に与える不確定要素が多く、業績予想を合理的に算定することが困難であります。そのため、2021年3月期の業績予想は未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

(新型コロナウイルス感染症に伴うリスク情報)

感染症の影響の収束時期が不透明であり、長期化した場合には引き続き営業の一部・全部停止を余儀なくされ、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に重要な影響を与える可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、また海外からの資金調達必要性が乏しいことから、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,521,595	1,449,588
売掛金	183,090	117,124
たな卸資産	174,935	190,233
その他	514,265	393,411
貸倒引当金	△35,282	△29,282
流動資産合計	2,358,604	2,121,074
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,058,167	7,759,635
減価償却累計額	△6,474,957	△6,324,058
建物及び構築物 (純額)	1,583,209	1,435,576
機械及び装置	1,296,183	1,240,854
減価償却累計額	△1,020,795	△996,833
機械及び装置 (純額)	275,387	244,021
工具、器具及び備品	1,981,057	1,894,579
減価償却累計額	△1,572,641	△1,559,994
工具、器具及び備品 (純額)	408,415	334,584
土地	245,103	245,103
有形固定資産合計	2,512,116	2,259,285
無形固定資産		
ソフトウェア	116,781	80,249
その他	42,310	4,276
無形固定資産合計	159,092	84,526
投資その他の資産		
投資有価証券	163,900	139,096
敷金及び保証金	3,892,646	3,719,648
その他	21,779	14,783
貸倒引当金	△2,900	△3,600
投資その他の資産合計	4,075,426	3,869,928
固定資産合計	6,746,635	6,213,740
資産合計	9,105,240	8,334,814

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	382,033	230,568
短期借入金	-	500,000
1年内返済予定の長期借入金	205,000	100,000
リース債務	144,173	599,585
未払金	445,802	490,467
未払消費税等	95,869	112,307
未払法人税等	72,774	77,168
未払事業所税	28,343	31,571
未払費用	252,988	250,216
店舗閉鎖損失引当金	3,127	18,183
その他	52,728	22,344
流動負債合計	1,682,840	2,432,412
固定負債		
長期借入金	100,000	-
リース債務	734,481	134,895
退職給付に係る負債	1,100,421	1,130,672
役員退職慰労引当金	17,465	18,026
長期預り保証金	42,000	42,000
資産除去債務	115,569	116,178
繰延税金負債	34,418	22,563
再評価に係る繰延税金負債	31,023	31,023
固定負債合計	2,175,378	1,495,359
負債合計	3,858,218	3,927,772
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,257,201	5,257,201
資本剰余金	1,320,000	1,320,000
利益剰余金	△1,243,323	△2,089,131
自己株式	△162,169	△161,816
株主資本合計	5,171,708	4,326,253
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,943	20,880
土地再評価差額金	70,295	70,295
退職給付に係る調整累計額	△30,614	△10,386
その他の包括利益累計額合計	74,624	80,788
新株予約権	688	-
純資産合計	5,247,021	4,407,042
負債純資産合計	9,105,240	8,334,814

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	15,271,833	14,567,080
売上原価	4,101,265	4,011,354
売上総利益	11,170,568	10,555,725
販売費及び一般管理費		
人件費	5,889,556	5,831,534
退職給付費用	141,131	135,561
減価償却費	410,774	413,480
地代家賃	2,091,510	2,035,880
事業税	131,701	115,136
事業所税	25,200	25,200
その他	2,254,052	2,306,486
販売費及び一般管理費合計	10,943,926	10,863,279
営業利益又は営業損失(△)	226,642	△307,553
営業外収益		
受取利息	202	103
受取配当金	5,616	6,361
受取賃貸料	5,719	5,719
固定資産受贈益	5,041	6,059
受取事務手数料	5,414	5,197
貸倒引当金戻入額	6,500	6,000
受取補償金	4,769	-
雑収入	13,443	19,386
営業外収益合計	46,708	48,827
営業外費用		
支払利息	22,378	17,200
雑損失	8,822	9,089
営業外費用合計	31,201	26,290
経常利益又は経常損失(△)	242,148	△285,015
特別利益		
新株予約権戻入益	2,045	645
店舗閉鎖損失引当金戻入額	-	3,141
受取補償金	123,435	-
その他	-	242
特別利益合計	125,480	4,029
特別損失		
固定資産除却損	1,526	3,169
減損損失	267,640	447,049
固定資産処分損	12,737	24,748
店舗閉鎖損失	21,876	22,181
店舗閉鎖損失引当金繰入額	3,127	18,183
その他	-	248
特別損失合計	306,907	515,581
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	60,721	△796,567

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
法人税、住民税及び事業税	42,578	50,325
法人税等調整額	△2,476	△1,113
法人税等合計	40,101	49,211
当期純利益又は当期純損失(△)	20,619	△845,779
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に 帰属する当期純損失(△)	20,619	△845,779

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	20,619	△845,779
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24,889	△14,062
退職給付に係る調整額	△11,493	20,227
その他の包括利益合計	△36,383	6,164
包括利益	△15,764	△839,615
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△15,764	△839,615
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,257,201	1,320,000	△1,263,900	△183,549	5,129,751
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			20,619		20,619
自己株式の取得				△33	△33
自己株式の処分			△42	21,413	21,371
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	20,577	21,379	41,957
当期末残高	5,257,201	1,320,000	△1,243,323	△162,169	5,171,708

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	59,833	70,295	△19,120	111,008	5,440	5,246,200
当期変動額						
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)						20,619
自己株式の取得						△33
自己株式の処分						21,371
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△24,889		△11,493	△36,383	△4,752	△41,135
当期変動額合計	△24,889	-	△11,493	△36,383	△4,752	821
当期末残高	34,943	70,295	△30,614	74,624	688	5,247,021

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,257,201	1,320,000	△1,243,323	△162,169	5,171,708
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△845,779		△845,779
自己株式の取得				△26	△26
自己株式の処分			△27	379	351
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	△845,807	352	△845,455
当期末残高	5,257,201	1,320,000	△2,089,131	△161,816	4,326,253

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	34,943	70,295	△30,614	74,624	688	5,247,021
当期変動額						
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)						△845,779
自己株式の取得						△26
自己株式の処分						351
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△14,062	-	20,227	6,164	△688	5,475
当期変動額合計	△14,062	-	20,227	6,164	△688	△839,979
当期末残高	20,880	70,295	△10,386	80,788	-	4,407,042

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	60,721	△796,567
減価償却費	468,407	468,226
固定資産処分損益(△は益)	12,737	24,748
減損損失	267,640	447,049
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6,500	△5,300
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	34,193	50,478
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	3,127	15,055
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,511	561
受取利息及び受取配当金	△5,818	△6,464
受取賃貸料	△5,719	△5,719
支払利息	22,378	17,200
固定資産除却損	1,526	3,169
売上債権の増減額(△は増加)	△15,413	65,966
たな卸資産の増減額(△は増加)	26,244	△15,297
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△161,126	118,638
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,506	△151,465
未払消費税等の増減額(△は減少)	△53,921	16,438
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△859	△100,301
その他	114,069	61,705
小計	758,692	208,123
利息及び配当金の受取額	5,820	6,464
賃貸料の受取額	5,719	5,782
利息の支払額	△22,378	△17,200
法人税等の支払額	△124,978	△41,221
営業活動によるキャッシュ・フロー	622,875	161,948
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△396,985	△339,362
無形固定資産の取得による支出	△42,692	△10,263
長期前払費用の取得による支出	△36,179	△32,697
資産除去債務の履行による支出	△41,363	△34,183
敷金及び保証金の差入による支出	△52,486	△7,232
敷金及び保証金の回収による収入	84,737	63,072
その他	△12,737	△24,440
投資活動によるキャッシュ・フロー	△497,707	△385,107
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	-	500,000
長期借入金の返済による支出	△330,000	△205,000
リース債務の返済による支出	△119,132	△144,173
自己株式の取得による支出	△33	△26
自己株式の売却による収入	21,371	351
財務活動によるキャッシュ・フロー	△427,795	151,151
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△302,627	△72,007
現金及び現金同等物の期首残高	1,724,222	1,421,595
現金及び現金同等物の期末残高	1,421,595	1,349,588

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社グループの事業は、飲食店の経営を営むものとして同一セグメントに属する、外食産業及びその補完的の事業であり、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	200.61円	168.51円
1株当たり当期純利益金額	0.79円	△32.34円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	0.79円	— なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在しますが1株当たり純損失であるため記載していません。

(注) 1. 1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	20,619	△845,779
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	20,619	△845,779
普通株式の期中平均株式数(株)	26,144,825	26,152,750
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
普通株式増加数(株)	11,358	—
(うち新株予約権(株))	(11,358)	—

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	5,247,021	4,407,042
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	688	—
(うち新株予約権(千円))	(688)	(—)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	5,246,333	4,407,042
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	26,151,853	26,152,793

(重要な後発事象)

(資金の借入)

新型コロナウイルス感染拡大の長期化に備えて手元資金を厚く保持し、財務基盤の安定性をより一層高めることを目的とし、(株)三菱UFJ銀行との当座貸越契約に基づき次の通り借入を実行いたしました。

(1)資金用途	運転資金
(2)借入実行日	2020年4月23日、2020年5月21日
(3)借入先	(株)三菱UFJ銀行
(4)借入金額	1,100,000千円、200,000千円
(5)金利	基準金利+1%

4. その他

(1) 役員の変動

役員の変動につきましては、2020年5月22日発表の「役員候補者決定に関するお知らせ」をご参照ください。